

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 127	提案機関名 横須賀市東部漁業協同組合
<b>要望問題</b> 資源回復計画のフォローアップ調査	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 横須賀市東部漁協では平成19年度から資源回復計画に参加し、シャコ・マコガレイ資源等の回復に努めてきた。しかし、本漁協の主力漁獲対象種であったマコガレイ資源は未だ回復の兆候がみられない。資源管理型漁業の確立を行うため、マコガレイ資源の減少要因の解明や今後の資源の動向について調査研究をお願いしたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター②畜産技術センター③水産技術センター④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部所</b>	栽培推進部
<b>対応区分</b>	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 東京湾におけるマコガレイの生態系ネットワーク及び資源回復阻害要因の解明（一般受託研究費）		
<b>対応の内容等</b>	シャコやマコガレイの減少要因については、貧酸素水塊の拡大と長期化、餌生物の減少などが稚仔魚の生き残りに影響を与えている可能性が考えられますが、まだはっきりしたことはわかっていません。引き続き調査データの解析を進めるとともに、環境や生物のモニタリング調査を継続し、資源減少要因の解明につながる研究を進めていきます。さらに、平成26年度から、千葉県と連携し、東京湾のマコガレイの資源回復を阻害している要因についての調査を開始しました。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
<b>備考</b>			